◇道路行政
◇農産物直売所
◇教育行政
◇マイス施設

上里 善清 議員

問 国道329号線バイパスの延伸計画について小那覇工業専用地域を横切り中城村の和宇慶まで繋ぐ計画と聞いているが、現在どの様な進捗状況か。

建設部長 町道東崎線までの工事完了は6月末の予定です。その後の諸手続きを経て、暫定共用との事です。国道バイパス延伸の早期着工に向けて、国に対して調査費の満額確保の要請を行って行きたい。

問 農業振興の要として、直売所の設置は重要な課題だ。しかし、ハード部分の議論が先行し、ソフト部分の整備が遅れているのではと心配している。現在の直売所の計画はどの様になっているか。

建設部長 建設候補地や施設規模等の精査や管理運営計画を含め、検討委員会で審議し、今年度中に基本計画をまとめたいと考えています。特に管理運営計画については、非常に重要なポイントで、その辺を含めたうえで基本計画をまとめていきたい。

問 坂田小学校の過密問題は、児童生徒の健全な教育環境を考えると、早期に改善する必要がある。西原西地区の土地区画整理事業も進み、新たにモノレールの延伸、幸地地区の区画整理事業も計画されており、児童の増加が予想される状況にある。そこで、私は、坂田小学校の分離校が必要だと思うが、どの様に考えているか、伺う。

教育部長 今年度の坂田小学校の児童数は856人、ピーク時の960人より104人の減少となっています。平成31年度までの児童数はほぼ現状のままで推移すると予想しており、現時点では分離校については考えておりません。しかし、校区内の区画整理事業の進捗状況によっては、児童数の増加も考えられますので、推計については、毎年度見直しをしております。

問 西原町のシンボル的な施設、琉球大学医学部の移転が現実味を帯びてきている。町の重要な施設が無くなる可能性があり、その代わりとしてマイス施設の誘致は是非成功させていきたいと思うが現況と今後の取り組みは。

建設部長 6月10日に最終の検討委員会が開催され、評価が行われています。県では委員会の評価結果を参考に、7月末までには候補地を決定したいとのことです。各自治体の意向も十分問われる評価項目になっており、6月29日に町民大会を開催し、町の意思を表現したいと思います。

一部開通した国道329号線バイパス

◇琉歌碑の建立
◇交通安全対策

有田　力 議員

問 琉歌のすばらしさを後世に伝える為にこれまで再三、歌碑建立について提案してきた。建立はまず地域有志の盛り上がりが絶対不可決であると当局は述べてこられた。この度「さわふじの詩」歌碑建立準備委員会（仮称）が立ち上げられた。教育委員会は準備委員会に対しどう係わり対応していく考えなのか。

教育部長 故、平敷静男作詞、石川しずか作曲「さわふじの詩」の歌碑建立期成会（仮称）の結成に向け6月2日に準備会を開催しました。町母子寡婦福祉会会長が中心となり取り組んでおります。教育委員会としては可能な限り協力する事を考えております。

教育長 どのような協力ができるか教育部長を中心に作業しているところであります。沖縄振興一括交付金を活用できるか等も含め他にどのような琉歌があるか検討している段階で、「さわふじの詩」歌碑建立に向け教育委員会としても全面的に協力したいと思います。

問 金丸と内閣ノロが契りを結んだ場所である事を伝える琉歌、そして内閣ノロと金丸が別れを惜しんで詠んだ琉歌もあると聞いております。「さわふじの詩」歌碑建立を手始めに第2、第3と一つでも多くのすばらしい歌碑建立に取り組んでいただきたい。

問 ①内間・小橋川線と小橋川・上原線の三差路地点におけるカーブミラーの増設、もしくは街灯の増設の検討結果はどうなったのか。②小橋川4号線の勾配箇所における、すべり止め舗装の検討結果はどうなったのか。

建設部長 当該三又路地点について浦添警察署の職員立ち合いのもと、現場で交通安全施設の検証を行いました。指摘はなかったけれど何か対策がとれないか検討の結果、西原台用地側から降りてくる車輌が一時停止する際、安全確認が二段階でできるように停止線の後方に破線表示を行う事や「前方優先」の看板設置は町の方で可能ではないか。「止まれ」の看板設置については、浦添警察署の方で引き続き検討することになっています。小橋川四号線については交差点部30メートル区間を滑り止め舗装対応の手法を考えております。いずれについても予算措置に向けて、関係課のほうと調整を図っていきたいと考えております。

町内唯一の琉歌碑「梅の香り」

◇坂田小学校の過密化
◇新庁舎建築工事は地元企業優先

大城 清松 議員

問 現在進行中の校舎建て替えについて、進捗状況をお聞きする。

教育部長 建替え予定の主な校舎は13号棟、14号棟、6号棟となっております。現在、基本設計、実施設計に向けて、県と調整を図りながら進めている状況でありますが、7月ごろに設計業務委託を予定しております。

問 設計をする段階の入札が7月に行われるということだが、その期間としては、どのぐらいの期間が予想されるのか。

教育部長 今、予定といたしましては、今年度内いっぱいでの設計を予定しております。

問 来年の夏休み頃には、仮設校舎の作業が、はじまるということですね。

教育総務課長 仮設校舎につきましては、4月、5月ぐらいに、工事を発注して、夏休み前までには移動ができるような形で進めたいと考えております。

問 新庁舎の建築工事は地元企業優先で施工されたことと思うが、地元の下請けの皆様から下請け業者はあまり貢献できなかったとの声がある。新庁舎の工事に携わった地元業者は何業者か、また、地元以外の業者は何業者あるのか。

総務部長 請け業者から下請け業者への発注状況につきましては、全部で94社に下請けを出しております。そのうち町内企業が31社、33%、町外企業が63社、67%でございます。元請け、下請けを合計しますと、全部で115社で、そのうち、町内企業が51社、44%です。町外企業が64社、56%になります。

問 西原町には数多くの下請け業者がいらっしゃいます。できれば町内の下請け業者の皆様に貢献させていただきたい。

プロジェクト推進室長 下請け業者選定につきましては、町内企業を優先に選定するようにしておりますが、特殊な工事などで専門業者が町内にいないことや、価格の面や不調と人員確保の面から折り合いがつかず、町外業者を採用したと、元請けの業者から報告を受けております。

新築された町役場庁舎

◇身障者専用駐車場に屋根の設置
◇琉大医学部移転で水道料金の収入減

長浜ひろみ 議員

問 バリアフリーの新庁舎、身障者マークの駐車場に屋根をつけてほしい。

総務部長 一般的に身体に障がいがある方で、歩行困難な方や、車いす使用者などの方は、車の乗り降りに時間がかかるため、雨降り等に濡れないように屋根を設けることが好ましいと考えております。

今後、屋根の設置に向けて費用の問題もありますが含めて検討していきたいと思っております。

問 琉大医学部が仮に移転を完了した場合、本町の水道料金の売り上げ、収入減の見込み額をお聞きします。

建設部長 琉大医学部が移転した場合、平成24年度、平成25年度の実績から参考にしますと、税抜きで額にして約4千6百万円、率にして町全体の約5・7%を占める見込みです。

上下水道課長 4千6百万円から実質、水道会計に残るお金はいくらかというと、4千6百万のうち、約1千8百万円が沖縄県企業局に払う上水購入費ということになりますので、約2千8百万円が水道会計に残るということになります。

問 企業用ごみ袋の導入説明会に参加できなかった企業への説明方法は。また、企業系ごみ袋の購入で毎月の出費があり、二重負担になるのでは。

総務部長 事業者説明会に参加できなかった事業者については、許可業者と契約している事業所への指定ごみの使用徹底を依頼する文書を配布し、指定ごみ袋使用徹底の周知を図りました。町のごみ処理手数料は指定ごみ袋価格に含まれており、それをごみ処理費用の一部に充てられております。しかし、指定ごみによるごみ処理手数料だけでは、町のごみを処理することはできず、その足りない分を一般財源から持ち出しによって処理しております。事業所のごみは許可業者と契約し、収集運搬料金と東部清掃組合の処理手数料10キロ、60円を含めた額で、それぞれ契約しておりますが、この処理手数料は個人が直接、東部清掃組合に搬入しても、納めなければなりません。町の納めるごみ処理手数料ではなくて、東部清掃施設組合に納める処理手数料となります。事業系ゴミ袋を使用しない場合、ごみを一般財源で処理することになり、不公平な仕組みになります。

新庁舎の身障者用駐車場